

第10 人権施策

人権推進センターの取組み

人権問題の解決を目指し、市民の人権意識の高揚を図るために、さまざまな啓発活動を行う「人権啓発センター」を、平成11年4月に開設し、平成19年4月、「人権文化のまちづくり」を推進するため、人権企画部と人権啓発センターを「人権推進センター」に統合しました。

平成20年4月1日、より一層市民の利用促進を図るため、毎日西部会館から男女共同参画センター・ムーブへ、人権文化推進課（旧人権啓発センター）事務室を移転し、総合的、効果的な啓発活動の拠点として、下記の事業を実施しています。

(1) さまざまな啓発活動

① テレビCM、ラジオ番組、動画

・テレビCMは、本市と福岡県・福岡市の3者共同で制作したものを、令和2年7月の「福岡県同和問題啓発強調月間」に民放3局で、12月の「人権週間」及び「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」に、民放5局で放送しました。

・ラジオ番組「明日への伝言板」は、全20話を、令和2年11月から令和3年1月まで、CROSS FMで放送しました。放送内容は、「明日への伝言板」ホームページから、視聴とシナリオのダウンロードができます。

・動画については、啓発冊子「モモマルくんと考えよう!～そのままのキミが好き～」「モモマルくんと考えよう! 2～知りたくない、聞きたくないと思ってない?～」をアニメ化し、インターネット配信を行いました。また、新型コロナウイルスに関する人権啓発動画「モモマルくんとコロナについて考えよう!」も制作しました。

これらの制作物は、北九州市人権推進セ

ンターYouTubeチャンネルから過去の物も視聴できるようになっています。

② 視聴覚教材や啓発冊子の制作 (令和2年度制作分)

視聴覚教材	<p>☆ 人権啓発動画 「モモマルくんと考えよう!～そのままのキミが好き～LGBT編②」 「モモマルくんとコロナについて考えよう!」 「モモマルくんと考えよう! 2～知りたくない、聞きたくないと思ってない?～」</p> <p>☆ 人権を考える5分間のラジオ番組「明日への伝言板」CD教材・シナリオ集・紙芝居DVD</p>
啓発資料	<p>☆ 人権啓発情報紙「いのち あい ころろ」(市内各世帯配布)</p>



◀ モモマルくんと考えよう!～そのままのキミが好き～LGBT編②

モモマルくんと考えよう! 2～知りたくない、聞きたくないと思ってない?～▶



◀ 明日への伝言板

③ 人権週間行事の実施

毎年、人権週間（12月4日～10日）に合わせて、基本的人権の確立とともに、人権尊重思想の普及高揚を図るため、街頭啓発や記念講演会などを集中的に実施しています。
（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）



▲人権週間記念講演会の模様（令和元年度開催時）

④ ふれあいフェスタの開催

人権に関する講演会やパネル展示、人権や福祉に関する団体による日常活動の紹介などを行い、明るく楽しい雰囲気の中で人権の大切さを考えるイベントとして、「ふれあいフェスタ」を開催しています。平成27年度からは北九州市障害者芸術祭と共同開催しています。（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）



▲ふれあい広場の模様①
（令和元年度開催時）



▲ふれあい広場の模様②
（令和元年度開催時）

⑤ その他

- ・ギラヴァンツ北九州のマッチデースポンサーとなり、監督・選手からの人権メッセージやPRブースでの啓発グッズの配布など、ホームゲームを活用した取組みを行っています。
- ・人権ライブラリーを開設し、人権啓発教材の貸し出し等を行っています。

(2) 人権啓発推進者の養成・調査・研究など

- ・北九州市人権問題啓発推進協議会との共催による「人権啓発推進者養成講座」の実施
- ・第7期北九州市人権施策審議会の開催
- ・「人権問題に関する市民意識調査」（5年毎。令和2年度実施）の実施

(3) 人権相談窓口の開設

所在地：小倉北区大手町 11 番 4 号 大手町ビル（ムーブ）8 階

電話：093 - 562 - 5088（相談専用電話）

受付時間：月曜～金曜（祝休日・年末年始を除く）の 8：30～17：00

(4) パートナーシップ宣誓制度

市民一人ひとりが互いに価値観や個性の違いを認め合い、多様性が認められる「人権文化のまちづくり」の推進を目的として、令和元年 7 月 1 日、「パートナーシップ宣誓制度」を導入しました。

「パートナーシップ宣誓制度」とは、一方又は双方が性的少数者である 2 人が、互いを人生のパートナーとして相互に協力し合いながら継続的に同居して日常生活を共にすることを市長に対し宣誓する制度です。この宣誓が認められると、「パートナーシップ宣誓書受領証」が交付されます。

【受領証の見本】



(5) 人権の約束事運動「ほっとハート北九州」の推進

人権に関する身近なテーマを市民相互の約束事として掲げ、守り合う「人権の約束事運動」を市民と協働しながら進めます。

約束事運動を通して、一人ひとりが人権を身近なものとして関心を持つとともに、「人権を尊重する」という行動の輪を広げることを目的としています。

この約束事運動を市民の力で進めるために、平成 20 年 11 月に、北九州市内の様々な団体や行政機関からなる人権の約束事運動「ほっとハート北九州」推進協議会を設立しました。「温かい心に満ちたまち北九州」をそのまま愛称にしたのが「ほっとハート北九州」です。多くの市民に人権の約束事運動に参加してもらえるよう、PR のための事業や普及活動にも取り組んでいます。

また、約束事運動をさらに身近に感じてもらうよう、マスコットキャラクターの「モモマルくん」も活用しながら、取組みを進めています。

取組みの輪は年々広がり、令和 2 年度末までに 1,672 団体が登録しています。

それぞれの家庭や地域、職場で相互に守り合う人権の約束事の例は次のとおりです。



家庭や地域での約束事
◇人がふれあうはじめての一步。あいさつを心がけます。
◇いじめは、しない、させない、見逃さない。
◇子どものがんばる姿、ほめて、認めて、はげまします。
◇子どもは地域の宝。みんなで「見守り隊」になります。
◇自分がされていやなことを言わない、しない、させない。
◇人を大切にする優しい心を育てます。
◇声かけから人の和づくりを始めます。
◇思いやる心を忘れず、明るい家庭をつくります。
◇見つめます。私の周りとその気持ち。

職場や職域での約束事
◇おはよう、おつかれさまは職場のきずな。あいさつから始めます。
◇認めあう気持ちを忘れず、明るい職場をつくります。
◇築きます。みんなで支える思いやりのある職場。
◇セクハラ・パワハラはしない、させない、見過ごさない。
◇常に聴く耳を持ち、自分の意見を持ちます。
◇職場では、コミュニケーションを大切にします。
◇ふれあい 助け愛 チームワークを大切にします。
◇働きやすい職場づくりに努めます。

家庭・地域・職場 共通の約束事
◇叱るより、まずは聴きます、子どもの気持ち。
◇差別、偏見、無関心。しない、させない、許さない。
◇あいさつと笑顔で楽しい家庭と職場をつくります。
◇摘み取ります。差別する芽と見逃す芽。
◇思いやる心を育て、明るい未来をつくります。
◇人権は私の家庭、職場から。身近なところから始めます。
◇気くばり 目くばり 思いやり 「ココロ」のバリアを取りのぞきます。
◇見ないふり、知らないふりは、決してしません。

(6) 同和問題啓発強調月間行事の実施

同和問題（部落差別）の早期解決のため、市民が同和問題（部落差別）の解決を自らの課題としてとらえ、人権意識の高揚が図られるよう、福岡県が定めた啓発強調月間（毎年7月）に、啓発ポスターの掲示やグッズ配布などの啓発事業を実施しています。なお、開催を予定していた講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、ホームページで啓発アニメーション動画を閲覧できるようにするなどの工夫をして、啓発を進めました。

(7) 地域交流センターの活動

地域交流センターは、福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる地域に密着したコミュニティセンターです。

生活上のさまざまな相談業務、各種教養講座の開催、地域交流を促進する事業や人権に関する啓発事業を総合的に行っています。

また、市民センターや学校を始め、関係行政機関、各種団体等と連携を図りながら、地域のニーズを把握し、地域の特性や実情にあった人権啓発事業を実施しています。

● 令和2年度 地域交流センター利用状況

(単位：人)

施設名	各種相談	クラブ活動	講座・講演会等	会議等	合計
新門司	64	4,327	906	351	5,648
下富野	65	1,382	4,193	874	6,514
貴船	33	2,019	1,694	811	4,557
山田	24	365	2,162	47	2,598
北方	71	21,529	1,334	1,135	24,069
徳力	18	6,350	2,477	2,305	11,150
蜷田	43	3,787	1,598	886	6,314
楠橋	38	4,456	2,505	2,400	9,399
木屋瀬	30	726	1,593	82	2,431
合計	386	44,941	18,462	8,891	72,680

※北方のクラブ活動は多目的ホール（7,504人）を含む。

● 令和2年度 地域交流センターの主な人権啓発事業実施状況

施設名	実施内容	実施年月日	参加者数
下富野	人権講演会 講 師：組坂 幸喜（九州大谷短期大学非常勤講師） 演 題：「部落差別の解消のために」～「フェイク」と「ヘイト」が結合した現実とどう向き合うか～	令和2年11月20日(金)	80 人
	人権コンサート 出演者：TAKAKO（シャンソン歌手） 内 容：シャンソンコンサート	令和2年12月12日(土)	30 人
貴 船	人権講演会 講 師：川口 泰司（山口県人権啓発センター事務局長） 演 題：「ネット社会と部落差別の現実」	令和2年12月9日(水)	25 人
楠 橋	人権講演会 講 師：大庭 正美（楠橋地域交流センター館長） 演 題：「差別の根っこについて考えよう」	令和3年2月12日(金)	33 人